



「整形外科」フットケア外来が オープンしました!



奈良県総合リハビリセンターでは、平成23年4月に糖尿病患者さんの足病変悪化を予防するために「糖尿病フットケア外来」を開設し、ケアを行ってまいりました。しかし、当センターでは脊髄損傷などによる神経障害が存在し、車椅子や装具の着用から爪や足の病気が悪化する患者さんも多く、入院に至るケースもあります。

そこで、平成27年4月から整形外科における脊髄損傷の患者さんを対象に整形外科フットケア外来を開設いたしました。看護師が足の状態を観察し、足浴・爪切りなどを行い、重症化を予防するための日常生活における注意点などを、ご説明させていただきます。



<受診の流れ>

- ①整形外科の診察時に、医師が足の状態を診察します。
- ②フットケアが必要と判断された場合、医師が依頼を行います。
- ③看護師から具体的な内容をご説明します。
- ④看護師が日時の予約をお取りします。(実際に行うのは予約を取った日になります。)
(毎週木曜日・午後から・完全予約制)



☆ご質問など、お問い合わせは外来看護師にお尋ねください。

奈良県総合リハビリテーションセンター 整形外科外来



変形性股関節症の 治療について ～人工股関節全置換術～



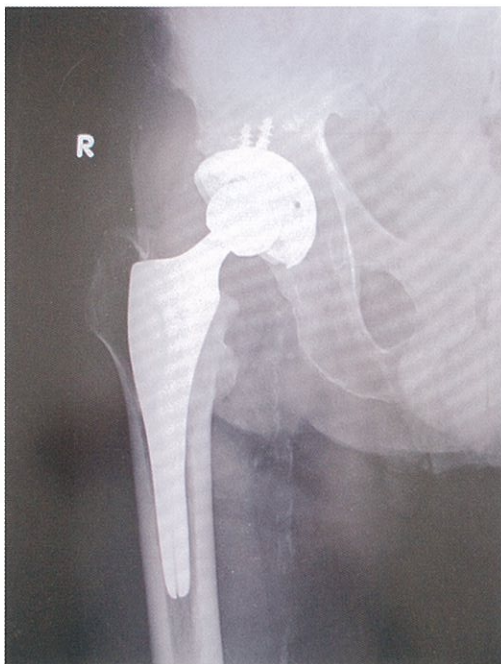
副院長(整形外科) 榎田 義英

脚の付け根の痛みおよび歩行障害の原因の1つとして、股関節が原因の場合があります。股関節に水がたまったり、軟骨がすり減ったことにより炎症が起こり痛みを発生します。

股関節に発生する病気として、変形性股関節症および大腿骨頭壊死、股関節唇損傷などがあります。その中でも、変形性股関節症は、年齢と共に筋肉が衰え体重が増加しやすい平均40～50歳の年齢に発症しやすいです。痛み止めを飲んでも歩行時の疼痛が軽減しない、特に夜間に疼痛で目が覚める、痛みでなかなか寝付けないような状態が長期間続き、改善の見込みがなければ、手術を考慮してよい時期かと思えます。

股関節の手術には、自分の骨で治す方法と人工の関節をいれる方法の2種類あります。自分の骨で治す方法は、関節温存手術といいます。関節温存手術の方法にもいろいろな手術療法がありますが、主に骨盤の骨切り術と大腿骨の骨切り術があります。自分の骨で治す方法は、非常に価値のある良い手術法ですが、リハビリの期間が長くなります。

人工の関節をいれる方法は、人工股関節全置換術といいます。人工関節は、股関節の疼痛はよくなり歩行障害も改善します。しかし人工股関節全置換術の合併症には、脱臼、感染、ゆるみ、静脈血栓塞栓症などがあります。当センターでは、合併症の予防には十分



に注意をはらい、より安全な手術を心がけています。また、当センターの特色であります充実したリハビリのスタッフとともに手術後の十分な機能回復をめざしたりハビリをさせていただきます。

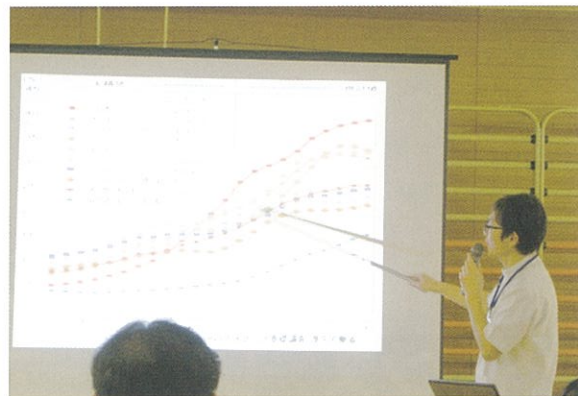
股関節の痛みでお困りの方は、是非ご来院してください。



第17・18回リハセンター公開講座を開催しました

平成27年2月26日と3月19日に第17回・第18回リハセンター公開講座を開催いたしました。

今回の公開講座では、近頃話題の「ロコモティブシンドローム」を取り上げ「ロコモって何？介護予防とロコモティブシンドローム」をテーマとして開催しました。第17回公開講座では基礎的内容を中心に「ロコモ入門編」としてロコモの概要や歴史、チェック方法について紹介させていただきました。第18回公開講座では「ロコモと運動療法」と題して応用的な内容を含めてロコモの予防方法を中心に紹介させていただきました。両日とも多くの方にご参加いただくことができ活発な公開講座となりました。



第17回公開講座の実技風景



第18回公開講座の実技風景

今後もリハセンター公開講座を企画させていただき予定をしておりますのでお時間のございます方は是非ともご参加ください。リハセンター公開講座の情報は奈良県総合リハビリテーションセンターのホームページから閲覧していただくことができます。

ホームページのURLは<http://www.nara-pho.jp/reha/>

担当講師の コメント

超高齢化社会の現状では、国民の3人に1人が「ロコモ」の可能性があるとわれています。荒木 健 気になる方は、早めの受診をオススメします!!



理学療法士
荒木 健

担当講師の コメント

目的とする動作に近い運動を少し負荷をかけて休み休みでも続けていきましょう。



理学療法士
柳澤 和彦

テーマ「6月」

自分の手でのりをのびのび～しました!!
高木忠樹 (5歳)

小児作業療法で作成した作品です。
色を付けた糊をのびし、破いた色紙を貼り付けて雨に見立てました。



エントランスをリニューアルしました

明るい雰囲気とわかりやすい案内表示をこころがけております。

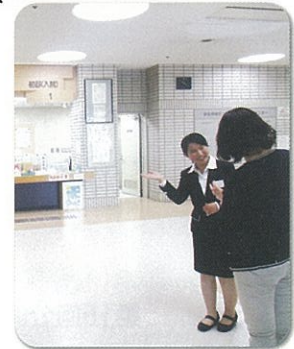


リニューアル!

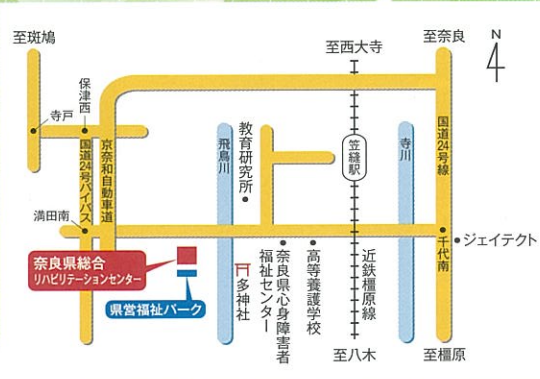
フロアコンシェルジュが配置されました

平成26年10月から、フロアコンシェルジュが配置されました。(委託業者ニチイ学館) 何かありましたらお気軽にお尋ね下さい。

患者様に安心してスムーズに診察を受けていただくため手続き等のご案内をさせていただきます。患者様に寄り添い、少しでも不安を和らげ気持ちよく受診して頂くお手伝いのできるよう頑張りますので宜しくお願いします。



交通のご案内



交通機関

- 近鉄笠縫駅(1.3km)……………徒歩 約20分
- 近鉄田原本駅……………タクシー 約10分
- 近鉄八木駅……………タクシー 約10分
- ……………リハビリセンター行バス 約15分
(平日のみ、12/29～1/3は、運休)

奈良県総合リハビリテーションセンターの理念

奈良県立病院機構の理念「医の心と技」を最高レベルに磨き、県民の健康を生涯にわたって支え続けます」を基本として、奈良県総合リハビリテーションでは「手には技術、頭には知識、心には思いやり」を持って、「親切、丁寧、温かい、質の高い医療」を提供します。

奈良県総合リハビリテーションセンター (地方独立行政法人 奈良県立病院機構)

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地 電話0744(32)0200(代) FAX0744(32)0208
<http://www.nara-pho.jp>